

第6回T-LOG新竹会議

The Sixth International Conference on Transportation and Logistics in Hsinchu, Taiwan

岡 英紀* 剣持 健**

By Hideki OKA and Takeshi KENMOCHI

1 はじめに

T-LOG¹⁾ (International Conference on Transportation and Logistics) は、EASTS²⁾ (Eastern Asia Society for Transportation Studies) の協賛により実施されている交通と物流に関する国際会議である。会議は隔年で実施されており、第6回会議が台湾の新竹市で2016年9月7日～9日に開催された。本稿では、その概要を紹介する。

2 T-LOG新竹会議の概要

(1) 過去の開催経緯

T-LOGは、論文発表、ディスカッション、知識や経験の交換によって、実務者と学識経験者の交流を促進することを目的に、2004年にシンガポールで第1回会議が開催された。T-LOGは、現在12ヶ国30のメンバー組織によって構成されており、第1回会議の開催以降、隔年で国際会議が開催されている。

T-LOGの過去の開催経緯は下表のとおりであり、第6回会議は新竹市(台湾)の国立交通大学で開催された。

表-1 T-LOGにおける過去の開催経緯

	開催国	主催
第1回	シンガポール	シンガポール大学
第2回	中国(深セン)	清華大学
第3回	日本(福岡)	東京大学 九州大学
第4回	韓国(釜山)	韓国交通研究院 韓国海洋大学
第5回	タイ(バンコク)	チュラロンコン大学 プラハ大学
第6回	台湾(新竹)	国立交通大学

(2) 新竹会議のセッション

セッションは以下の12のテーマについて、61編の論文が発表され、2日間に渡って報告と意見交換が行

われた。

- 1) Logistics Policy (物流政策)
- 2) City Logistics (都市物流)
- 3) Data and Information (データと情報)
- 4) Container Shipping (コンテナ輸送)
- 5) Terminal and Warehouse Operation
(ターミナル・倉庫オペレーション)
- 6) Cross-Border and River Transport
(越境と河川輸送)
- 7) Green Logistics (グリーン物流)
- 8) Intermodal and Cross-Border Transport
Modelling
(複合一貫輸送と越境輸送モデリング)
- 9) Maritime Logistics (海上輸送)
- 10) Economics, Industries and Supply Chain
(経済社会とサプライチェーン)
- 11) Aviation Logistics (航空物流)
- 12) Other Modes (その他輸送手段)

(3) 当研究所からの発表

当研究所からは、第5回東京都市圏物資流動調査のデータ解析に基づく論文として、調査の概要と、収集されたデータに基づく分析・モデリング、分析結果に基づく政策提言について、著者らが発表した。

剣持 健 研究員からは、Urban Freight Survey and Policy Measures with Respect to Urban and Transport Planning in Tokyo Metropolitan Area と題して、東京都市圏物資流動調査の取組概要と東京都市圏で取り組む政策について発表した。さらに、岡 英紀 研究員からは、An analysis of Truck Route Choice Behavior Based on the 5th Tokyo Metropolitan Freight Survey Data と題して、同じく東京都市圏物資流動調査結果をもとに、貨物車の経路選択行動に着目した分析とモデリングについて発表した。

また、第5回東京都市圏物資流動調査データを用い

* 社会基盤計画研究室 研究員 ** 道路・経済社会研究室 研究員 博士(社会経済)

た解析として、東京海洋大学のAI Hanz Seiji Basa Lidasan氏から、Characteristics of Logistics Facilities Allocation, Size and Truck Generation by Tokyo Metropolitan Area Urban Freight Surveyと題して、物流施設立地と貨物車の発生集中量の関係性に関する論文が発表された。この論文は、T-LOGにて若手優秀研究者賞を受賞しており、若手研究者の新しいアイデアに対する驚きと、東京都市圏物資流動調査データのさらなる可能性を感じる事ができた。



写真-1 会場（国立交通大学、台湾・新竹市）



写真-2 発表の様子（剣持研究員）



写真-3 発表の様子（岡研究員）

3 おわりに

T-LOGへの参加と発表を通じ、アジア地域における多様な物流課題の現状と、それに対して実務者・研究者が様々なアプローチから語り合うことの重要性を強く感じた。

第7回会議は2018年に開催予定である。当研究所では、第5回東京都市圏物資流動調査の終了後も物流課題に対する調査研究を実施しており、こうした国際会議の場で継続的に情報発信し、意見交換できるように取り組んでいきたい。

参考文献

- 1) 第6回T-LOGウェブサイト,
<http://tlog2016.conf.tw>
- 2) EASTS, <http://www.easts.info/>